

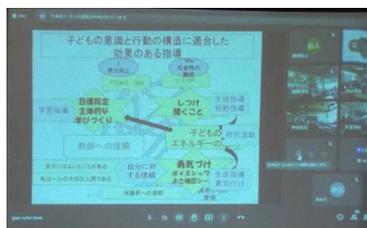
# 伸・魅力通信

## 魅力ある袋井あやぐも学園幼小中一貫教育研修会 その1

6月9日に、袋井あやぐも学園の幼小中の教職員を対象に、研修会が行われました。会ではまず、15歳の出口の姿である袋井中学校の生徒が、授業で学んでいる様子を観察しました。



次に、鳴門教育大学教職大学院教授久我直人先生から、「潤いのある学校づくりの理論と実践—『勇気づけの教育』の組織的展開—」について御講演いただきました。久我先生の理論は、袋井あやぐも学園運営の柱になっている考え方です。



久我先生からは「袋井中学校が年々 **良くなっている** **潤いのある学校**になってきています。**学園全体で取り組もうとしている**ことは、全国の課題を抱えて困っている学校のモデルになります」と価値付けていただきました。

最後に、学園の全職員が「**学びづくり**」「**体づくり**」「**心づくり**」「**生き方**」「**特別支援**」「**授業づくり**」に分かれて、「カリキュラムと各校・各園の教育がどのようにつながっているか、これからどのようにつなげていくことができるか」について話し合いました。



幼稚園でも**目指す十五歳の姿から逆算**して年少・年中・年長での仕掛けを考えています。園からのお便りに写真を載せて、家の人と子供が話をするきっかけづくりをしています。



袋井中体操」というものがあります。その体操の一部を教えてください。いいですよ。それ小学校でもやってみますよ。